

- 1 3世紀頃、邪馬台国を治め、中国の魏に使者を送ったとされる女王は誰？
① 推古天皇 ② 卑弥呼 ③ 神武天皇 ④ 聖徳太子 ☐ ☐
- 2 佐賀県にあり、周囲に濠（ほり）を巡らせた弥生時代の集落跡として知られる代表的な遺跡を何という？
① 三内丸山遺跡 ② 大森貝塚 ③ 登呂遺跡 ④ 吉野ヶ里遺跡 ☐ ☐
- 3 銅剣や銅矛が多く出土しており、銅鐸の主な出土地帯とは異なる特徴を持つ地域はどこ？
① 中国地方 ② 近畿地方 ③ 東北地方 ④ 九州地方 ☐ ☐
- 4 1世紀、後漢の時代に倭の奴国の王が使節を送った際に、その権威を認めて印を授けた皇帝を何という？
① 光武帝 ② 玄宗 ③ 始皇帝 ④ 武帝 ☐ ☐
- 5 弥生時代に大陸から伝わり、銅剣や銅矛などの作成に用いられた技術のことを何という？
① 木器 ② 石器 ③ 土器 ④ 金属器 ☐ ☐
- 6 弥生時代、奴国の使者が金印を授かった、当時の中国の王朝を何という？
① 隋 ② 魏 ③ 前漢 ④ 後漢 ☐ ☐
- 7 1世紀に日本の奴国の王から使者が送られた際、返礼として金印を授けた後漢の皇帝は誰？
① 武帝 ② 始皇帝 ③ 光武帝 ④ 玄宗 ☐ ☐
- 8 古代中国の記録などを通じて、当時の日本（倭）の状況を知ることができる資料のうち、出来事や制度を記録した書物を何という？
① 法典 ② 地理書 ③ 歴史書 ④ 随筆 ☐ ☐
- 9 弥生時代に大陸から伝わった金属器のうち、農具や武器として実用的に使われたものを何という？
① 土器 ② 石器 ③ 青銅器 ④ 鉄器 ☐ ☐
- 10 弥生時代に大陸から金属器とともに伝わり、それまでの採集中心の生活から定住型の社会へ変化させる大きな要因となった技術を何という？
① 漁労 ② 採集 ③ 稲作 ④ 狩猟 ☐ ☐
- 11 弥生時代において、祭礼や儀式を行うために用いられた道具のうち、銅鐸や銅鏡などを総称して何という？
① 土器 ② 石器 ③ 鉄器 ④ 青銅器 ☐ ☐
- 12 弥生時代の日本が、中国の王朝へ進んだ文化や権威を求めて使者を送り、贈り物や献上品を送る外交形式を何という？
① 遣唐使 ② 大化の改新 ③ 冊封 ④ 朝貢 ☐ ☐
- 13 高床倉庫の柱に取り付けられた、ネズミが倉庫の中に侵入するのを防ぐための工夫を何という？
① 掘立柱 ② 茅葺き ③ 高床 ④ ネズミ返し ☐ ☐
- 14 江戸時代に金印が発見されたと伝えられている、現在の福岡県にある島は何という？
① 種子島 ② 壱岐 ③ 対馬 ④ 志賀島 ☐ ☐
- 15 邪馬台国の卑弥呼が魏の皇帝から贈り物を受けた様子など、当時の日本の様子が詳しく記されている中国の歴史書を何という？
① 日本書紀 ② 魏志倭人伝 ③ 風土記 ④ 古事記 ☐ ☐



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	卑弥呼 は「鬼道」と呼ばれる呪術を用いて人々を統治した女王です。		2 卑弥呼	☐
2	吉野ヶ里遺跡 は、周囲に二重の環濠と柵をめぐらせた巨大な集落跡です。		4 吉野ヶ里遺跡	☐
3	青銅器の中でも、銅剣・銅矛は九州北部を中心とする西日本に、銅鐸は近畿地方を中心に多く出土し、文化圏がはっきり分かれていました。		4 九州地方	☐
4	『後漢書』東夷伝によれば、57年に倭の奴国の使者が後漢の 光武帝 に謁見し、朝貢しました。		1 光武帝	☐
5	金属器 には主に銅製品（青銅器）と鉄製品がありました。		4 金属器	☐
6	57年、九州の奴国の使者が中国の王朝である 後漢 の皇帝を訪れ、朝貢を行いました。		4 後漢	☐
7	当時の日本の「奴国」の王が、後漢の都に使者を派遣しました。それに対して、皇帝である 光武帝 は、親交のしるしとして「漢委奴国王」と刻まれた金印を授けました。		3 光武帝	☐
8	『後漢書』や『魏志倭人伝（三国志）』などが代表的な 歴史書 です。		3 歴史書	☐
9	鉄は青銅よりも硬く丈夫であるため、刃先として農具（鋤・鍬）や武器（剣・矛・鏃）などに加工されました。		4 鉄器	☐
10	稲作 が定着したことで、人々は安定した食料を得られるようになり、収穫の時期に合わせて同じ場所に住み続ける定住生活が始まりました。		3 稲作	☐
11	青銅器 は主に銅鐸や銅鏡、銅剣などに鑄造され、それらが高い装飾性を持っていたことから、主に集落の祭礼や儀式、または権力者の威信を示すための道具として使われました。		4 青銅器	☐
12	朝貢 は、中国の皇帝に対して周辺諸国の支配者が使者を派遣し、贈り物（貢ぎ物）を差し出す外交儀礼です。		4 朝貢	☐
13	柱の途中に板状の出っ張り（ ネズミ返し ）を取り付けることで、地面から登ってくるネズミがそれ以上進めないように工夫されていました。		4 ネズミ返し	☐
14	福岡県の 志賀島 で、農作業の最中に石の間から金印が発見されたと伝えられています。		4 志賀島	☐
15	魏の歴史をまとめた『魏志』のうち、東夷伝という章に倭人に関する記述があり、一般に『 魏志倭人伝 』と呼ばれます。		2 魏志倭人伝	☐

言えなかった用語ノート

- 1 福岡県の志賀島で発見された金印を授けた、弥生時代の中国の王朝を何という？
① 後漢 ② 西晋 ③ 魏 ④ 前漢
- 2 弥生時代において、祭礼や儀式を行うために用いられた道具のうち、銅鐸や銅鏡などを総称して何という？
① 土器 ② 石器 ③ 鉄器 ④ 青銅器
- 3 弥生時代に北部九州を中心に多く出土している、中国から輸入された鏡を何という？
① 三角縁神獣鏡 ② 漢鏡 ③ 小形仿製鏡 ④ 銅鐸
- 4 3世紀頃、邪馬台国を治め、中国の魏に使者を送ったとされる女王は誰？
① 推古天皇 ② 神武天皇 ③ 卑弥呼 ④ 聖徳太子
- 5 古代中国の記録などを通じて、当時の日本（倭）の状況を知ることができる資料のうち、出来事や制度を記録した書物を何という？
① 歴史書 ② 地理書 ③ 法典 ④ 随筆
- 6 福岡県の志賀島で発見され、1世紀に中国の皇帝から日本の王に贈られたことを示す重要な遺物を何という？
① 銅矛 ② 銅鏡 ③ 銅鐸 ④ 金印
- 7 弥生時代の日本が、中国の王朝へ進んだ文化や権威を求めて使者を送り、贈り物や献上品を送る外交形式を何という？
① 遣唐使 ② 大化の改新 ③ 朝貢 ④ 冊封
- 8 1世紀、後漢の時代に倭の奴国の王が使節を送った際に、その権威を認めて印を授けた皇帝を何という？
① 玄宗 ② 光武帝 ③ 始皇帝 ④ 武帝
- 9 弥生時代に大陸から金属器とともに伝わり、それまでの採集中心の生活から定住型の社会へ変化させる大きな要因となった技術を何という？
① 稲作 ② 採集 ③ 漁労 ④ 狩猟
- 10 稲作が普及して富や権力に差が生まれた弥生時代、地域をまとめる存在として現れたまとまりを何という？
① 国府 ② 郡 ③ 大和政権 ④ クニ
- 11 佐賀県に位置し、環濠集落の中でも大規模で、高床倉庫や物見やぐらが復元されていることで知られる遺跡は何という？
① 菜畑遺跡 ② 唐古・鍵遺跡 ③ 吉野ヶ里遺跡 ④ 登呂遺跡
- 12 弥生時代に大陸から伝わり、武器としてではなく、祭祀や儀式の際に用いられた青銅製の釣り鐘型の道具を何という？
① 銅剣 ② 銅鐸 ③ 鏡 ④ 銅矛
- 13 弥生時代に大陸から伝わり、実用品ではなく主に祭祀の道具として使われた青銅器のうち、釣鐘のような形をしたものを何という？
① 銅矛 ② 鏡 ③ 銅剣 ④ 銅鐸
- 14 奴国からの使節の来訪や金印の授与についての記述がある、中国の歴史書を何という？
① 後漢書 ② 魏志倭人伝 ③ 古事記 ④ 日本書紀
- 15 「漢委奴国王」と刻まれた金印が発見された、福岡県にある場所はどこ？
① 対馬 ② 壱岐 ③ 志賀島 ④ 種子島



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る 答え	言えた
1	志賀島で発見された「漢委奴国王」と刻まれた金印は、1世紀頃、 後漢 の光武帝が日本の使者に授けたものと考えられています。	1 後漢	☐
2	青銅器 は主に銅鐸や銅鏡、銅剣などに铸造され、それらが高い装飾性を持っていたことから、主に集落の祭礼や儀式、または権力者の威信を示すための道具として使われました。	4 青銅器	☐
3	漢鏡 は、中国の漢王朝で铸造された銅鏡で、高い铸造技術による精巧な文様が特徴です。	2 漢鏡	☐
4	卑弥呼 は「鬼道」と呼ばれる呪術を用いて人々を統治した女王です。	3 卑弥呼	☐
5	『後漢書』や『魏志倭人伝（三国志）』などが代表的な 歴史書 です。	1 歴史書	☐
6	1784年、福岡県の志賀島で農夫によって発見されました。	4 金印	☐
7	朝貢 は、中国の皇帝に対して周辺諸国の支配者が使者を派遣し、贈り物（貢ぎ物）を差し出す外交儀礼です。	3 朝貢	☐
8	『後漢書』東夷伝によれば、57年に倭の奴国の使者が後漢の 光武帝 に謁見し、朝貢しました。	2 光武帝	☐
9	稲作 が定着したことで、人々は安定した食料を得られるようになり、収穫の時期に合わせて同じ場所に住み続ける定住生活が始まりました。	1 稲作	☐
10	この争いに勝った有力者が周辺の集落を統合し、「 クニ 」と呼ばれる政治的なまとまりを作りました。	4 クニ	☐
11	吉野ヶ里遺跡 は、周囲に深い堀（環濠）を巡らせ、外敵の侵入を防ぐ構造を持つ大規模な集落跡です。	3 吉野ヶ里遺跡	☐
12	銅鐸 は、主に近畿地方を中心に分布しており、弥生時代の村の共同体で行われる祭りや儀式に使われたと考えられています。	2 銅鐸	☐
13	銅鐸 は主に近畿地方を中心に多く出土しており、祭祀の道具として用いられました。	4 銅鐸	☐
14	『 後漢書 』は、後漢時代の出来事をまとめた中国の歴史書です。	1 後漢書	☐
15	後漢の光武帝から授けられたとされる「漢委奴国王」の金印は、江戸時代、福岡県の 志賀島 で農作業中に偶然発見されたと伝えられています。	3 志賀島	☐

言えなかった用語ノート

- 1 弥生時代の日本が、中国の王朝へ進んだ文化や権威を求めて使者を送り、贈り物や献上品を送る外交形式を何という？
① 遣唐使 ② 大化の改新 ③ 朝貢 ④ 冊封
- 2 弥生時代に大陸から伝わった金属器のうち、農具や武器として実用的に使われたものを何という？
① 土器 ② 鉄器 ③ 青銅器 ④ 石器
- 3 弥生時代に大陸から金属器とともに伝わり、それまでの採集中心の生活から定住型の社会へ変化させる大きな要因となった技術を何という？
① 漁労 ② 採集 ③ 狩猟 ④ 稲作
- 4 弥生時代に祭礼の道具として用いられ、指導者の地位の高さを示す象徴となった釣鐘状の青銅器を何という？
① 銅鐸 ② 鏡 ③ 銅矛 ④ 銅剣
- 5 弥生時代において、祭礼や儀式を行うために用いられた道具のうち、銅鐸や銅鏡などを総称して何という？
① 土器 ② 青銅器 ③ 鉄器 ④ 石器
- 6 銅鐸が主な役割として使われた、豊作を祈るなどの行事を何という？
① 狩り ② 戦い ③ 交易 ④ 祭り
- 7 金印が作られた紀元1世紀頃、地中海を中心に繁栄していた当時の巨大な帝国を何という？
① マケドニア王国 ② クシャーナ朝 ③ ローマ帝国 ④ パルティア
- 8 佐賀県にあり、周囲に濠（ほり）を巡らせた弥生時代の集落跡として知られる代表的な遺跡を何という？
① 吉野ヶ里遺跡 ② 大森貝塚 ③ 登呂遺跡 ④ 三内丸山遺跡
- 9 縄文土器と比べて薄く作られ、煮炊きに適していたのはどのような温度で焼かれたから？
① 乾燥 ② 多湿 ③ 低湿 ④ 高温
- 10 邪馬台国の卑弥呼が魏の皇帝から贈り物を受けた様子など、当時の日本の様子が詳しく記されている中国の歴史書を何という？
① 日本書紀 ② 風土記 ③ 魏志倭人伝 ④ 古事記
- 11 江戸時代に金印が発見されたと伝えられている、現在の福岡県にある島は何という？
① 種子島 ② 志賀島 ③ 対馬 ④ 壱岐
- 12 3世紀頃、邪馬台国を治め、中国の魏に使者を送ったとされる女王は誰？
① 卑弥呼 ② 推古天皇 ③ 神武天皇 ④ 聖徳太子
- 13 1世紀に日本の奴国の王から使者が送られた際、返礼として金印を授けた後漢の皇帝は誰？
① 武帝 ② 始皇帝 ③ 光武帝 ④ 玄宗
- 14 佐賀県に位置し、環濠集落の中でも大規模で、高床倉庫や物見やぐらが復元されていることで知られる遺跡は何という？
① 菜畑遺跡 ② 唐古・鍵遺跡 ③ 登呂遺跡 ④ 吉野ヶ里遺跡
- 15 静岡県にあり、水田のあとや高床倉庫のあとが見つかった、弥生時代の遺跡を何という？
① 吉野ヶ里遺跡 ② 登呂遺跡 ③ 三内丸山遺跡 ④ 大森貝塚



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	朝貢 は、中国の皇帝に対して周辺諸国の支配者が使者を派遣し、贈り物（貢ぎ物）を差し出す外交儀礼です。		3 朝貢	☐
2	鉄は青銅よりも硬く丈夫であるため、刃先として農具（鋤・鍬）や武器（剣・矛・鏃）などに加工されました。		2 鉄器	☐
3	稲作 が定着したことで、人々は安定した食料を得られるようになり、収穫の時期に合わせて同じ場所に住み続ける定住生活が始まりました。		4 稲作	☐
4	銅鐸 は青銅製の釣鐘状の道具で、当初は小型でしたが、次第に大型化しました。		1 銅鐸	☐
5	青銅器 は主に銅鐸や銅鏡、銅剣などに铸造され、それらが高い装飾性を持っていたことから、主に集落の祭礼や儀式、または権力者の威信を示すための道具として使われました。		2 青銅器	☐
6	銅鐸は、このような 祭り の場で、神聖な音を出したり、掲げられたりすることで、人々を統率し豊作を祈るために使われました。		4 祭り	☐
7	ローマ帝国 は、地中海沿岸の全域を支配下に置き、高度な法整備や道路網、水道技術などを有していました。		3 ローマ帝国	☐
8	吉野ヶ里遺跡 は、周囲に二重の環濠と柵をめぐらせた巨大な集落跡です。		1 吉野ヶ里遺跡	☐
9	高温 で焼くことで強度が上がり、煮炊きに適した薄い土器を大量に作ることができました。		4 高温	☐
10	魏の歴史をまとめた『魏志』のうち、東夷伝という章に倭人に関する記述があり、一般に『 魏志倭人伝 』と呼ばれます。		3 魏志倭人伝	☐
11	福岡県の 志賀島 で、農作業の最中に石の間から金印が発見されたと伝えられています。		2 志賀島	☐
12	卑弥呼 は「鬼道」と呼ばれる呪術を用いて人々を統治した女王です。		1 卑弥呼	☐
13	当時の日本の「奴国」の王が、後漢の都に使者を派遣しました。それに対して、皇帝である 光武帝 は、親交のしるしとして「漢委奴国王」と刻まれた金印を授けました。		3 光武帝	☐
14	吉野ヶ里遺跡 は、周囲に深い堀（環濠）を巡らせ、外敵の侵入を防ぐ構造を持つ大規模な集落跡です。		4 吉野ヶ里遺跡	☐
15			2 登呂遺跡	☐

言えなかった用語ノート

1 弥生時代の日本が、中国の王朝へ進んだ文化や権威を求めて使者を送り、贈り物や献上品を送る外交形式を何という？

- ① 朝貢 ② 大化の改新 ③ 冊封 ④ 遣唐使

2 1世紀、後漢の時代に倭の奴国の王が使節を送った際に、その権威を認めて印を授けた皇帝を何という？

- ① 始皇帝 ② 玄宗 ③ 光武帝 ④ 武帝

3 弥生時代に祭礼の道具として用いられ、指導者の地位の高さを示す象徴となった釣鐘状の青銅器を何という？

- ① 銅矛 ② 鏡 ③ 銅剣 ④ 銅鐸

4 佐賀県に位置し、環濠集落の中でも大規模で、高床倉庫や物見やぐらが復元されていることで知られる遺跡は何という？

- ① 菜畑遺跡 ② 吉野ヶ里遺跡 ③ 登呂遺跡 ④ 唐古・鍵遺跡

5 福岡県の志賀島で発見され、1世紀に中国の皇帝から日本の王に贈られたことを示す重要な遺物を何という？

- ① 金印 ② 銅鏡 ③ 銅矛 ④ 銅鐸

6 弥生時代に大陸から伝わり、水田で米をつくることで、食べ物を自分たちで育てて得られるようにした農耕を何という？

- ① 狩猟 ② 採集 ③ 稲作 ④ 漁労

7 金印が作られた紀元1世紀頃、地中海を中心に繁栄していた当時の巨大な帝国を何という？

- ① パルティア ② クシャーナ朝 ③ マケドニア王国 ④ ローマ帝国

8 弥生時代において、祭礼や儀式を行うために用いられた道具のうち、銅鐸や銅鏡などを総称して何という？

- ① 土器 ② 青銅器 ③ 鉄器 ④ 石器

9 1世紀に日本の奴国の王から使者が送られた際、返礼として金印を授けた後漢の皇帝は誰？

- ① 武帝 ② 始皇帝 ③ 玄宗 ④ 光武帝

10 弥生時代に大陸から伝わり、武器としてではなく、祭祀や儀式の際に用いられた青銅製の釣り鐘型の道具を何という？

- ① 銅鐸 ② 銅剣 ③ 鏡 ④ 銅矛

11 邪馬台国の卑弥呼が魏の皇帝から贈り物を受けた様子など、当時の日本の様子が詳しく記されている中国の歴史書を何という？

- ① 日本書紀 ② 風土記 ③ 魏志倭人伝 ④ 古事記

12 佐賀県にあり、周囲に濠（ほり）を巡らせた弥生時代の集落跡として知られる代表的な遺跡を何という？

- ① 三内丸山遺跡 ② 吉野ヶ里遺跡 ③ 登呂遺跡 ④ 大森貝塚

13 銅剣や銅矛が多く出土しており、銅鐸の主な出土地帯とは異なる特徴を持つ地域はどこ？

- ① 東北地方 ② 近畿地方 ③ 九州地方 ④ 中国地方

14 高床倉庫の柱に取り付けられた、ネズミが倉庫の中に侵入するのを防ぐための工夫を何という？

- ① ネズミ返し ② 茅葺き ③ 高床 ④ 掘立柱

15 『後漢書』東夷伝などの歴史書において、弥生時代の日本列島に多数存在していたとされる政治的なまとまりを何という？

- ① 倭国 ② 邪馬台国 ③ 奴国 ④ 小国



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	朝貢 は、中国の皇帝に対して周辺諸国の支配者が使者を派遣し、贈り物（貢ぎ物）を差し出す外交儀礼です。		1 朝貢	☐
2	『後漢書』東夷伝によれば、57年に倭の奴国の使者が後漢の 光武帝 に謁見し、朝貢しました。		3 光武帝	☐
3	銅鐸 は青銅製の釣鐘状の道具で、当初は小型でしたが、次第に大型化しました。		4 銅鐸	☐
4	吉野ヶ里遺跡 は、周囲に深い堀（環濠）を巡らせ、外敵の侵入を防ぐ構造を持つ大規模な集落跡です。		2 吉野ヶ里遺跡	☐
5	1784年、福岡県の志賀島で農夫によって発見されました。		1 金印	☐
6			3 稲作	☐
7	ローマ帝国 は、地中海沿岸の全域を支配下に置き、高度な法整備や道路網、水道技術などを有していました。		4 ローマ帝国	☐
8	青銅器 は主に銅鐸や銅鏡、銅剣などに铸造され、それらが高い装飾性を持っていたことから、主に集落の祭礼や儀式、または権力者の威信を示すための道具として使われました。		2 青銅器	☐
9	当時の日本の「奴国」の王が、後漢の都に使者を派遣しました。それに対して、皇帝である 光武帝 は、親交のしるしとして「漢委奴国王」と刻まれた金印を受けました。		4 光武帝	☐
10	銅鐸 は、主に近畿地方を中心に分布しており、弥生時代の村の共同体で行われる祭りや儀式に使われたと考えられています。		1 銅鐸	☐
11	魏の歴史をまとめた『魏志』のうち、東夷伝という章に倭人に関する記述があり、一般に『 魏志倭人伝 』と呼ばれます。		3 魏志倭人伝	☐
12	吉野ヶ里遺跡 は、周囲に二重の環濠と柵をめぐらせた巨大な集落跡です。		2 吉野ヶ里遺跡	☐
13	青銅器の中でも、銅剣・銅矛は九州北部を中心とする西日本に、銅鐸は近畿地方を中心に多く出土し、文化圏がはっきり分かれていました。		3 九州地方	☐
14	柱の途中に板状の出っ張り（ ネズミ返し ）を取り付けることで、地面から登ってくるネズミがそれ以上進めないように工夫されていました。		1 ネズミ返し	☐
15	当時の日本は「百余りの 小国 」に分かれていたと『後漢書』などに記されています。		4 小国	☐

言えなかった用語ノート

- 1 高床倉庫の柱に取り付けられた、ネズミが倉庫の中に侵入するのを防ぐための工夫を何という？
① 掘立柱 ② ネズミ返し ③ 高床 ④ 茅葺き
- 2 佐賀県に位置し、環濠集落の中でも大規模で、高床倉庫や物見やぐらが復元されていることで知られる遺跡は何という？
① 吉野ヶ里遺跡 ② 唐古・鍵遺跡 ③ 登呂遺跡 ④ 菜畑遺跡
- 3 弥生時代に導入された金属器のうち、硬度が高く、刃先などの実用的な道具として生産力の向上に貢献したものを何という？
① 木器 ② 青銅器 ③ 鉄器 ④ 石器
- 4 弥生時代に作られた銅剣や銅矛などの青銅器は、主に何という儀式的道具として発展した？
① 農耕 ② 狩猟 ③ 交易 ④ 祭祀
- 5 銅剣や銅矛が多く出土しており、銅鐸の主な出土地帯とは異なる特徴を持つ地域はどこ？
① 近畿地方 ② 九州地方 ③ 東北地方 ④ 中国地方
- 6 邪馬台国の卑弥呼が魏の皇帝から贈り物を受けた様子など、当時の日本の様子が詳しく記されている中国の歴史書を何という？
① 日本書紀 ② 風土記 ③ 魏志倭人伝 ④ 古事記
- 7 弥生時代に北部九州を中心に多く出土している、中国から輸入された鏡を何という？
① 漢鏡 ② 銅鐸 ③ 小形仿製鏡 ④ 三角縁神獣鏡
- 8 弥生時代に大陸から伝わり、武器としてではなく、祭祀や儀式の際に用いられた青銅製の釣り鐘型の道具を何という？
① 銅剣 ② 銅矛 ③ 鏡 ④ 銅鐸
- 9 江戸時代に金印が発見されたと伝えられている、現在の福岡県にある島は何という？
① 種子島 ② 壱岐 ③ 志賀島 ④ 対馬
- 10 弥生時代に祭礼の道具として用いられ、指導者の地位の高さを示す象徴となった釣り鐘状の青銅器を何という？
① 銅矛 ② 銅鐸 ③ 鏡 ④ 銅剣
- 11 弥生時代に大陸から伝わり、銅剣や銅矛などの作成に用いられた技術のことを何という？
① 金属器 ② 石器 ③ 土器 ④ 木器
- 12 佐賀県にあり、周囲に濠（ほり）を巡らせた弥生時代の集落跡として知られる代表的な遺跡を何という？
① 三内丸山遺跡 ② 大森貝塚 ③ 登呂遺跡 ④ 吉野ヶ里遺跡
- 13 金印が作られた紀元1世紀頃、地中海を中心に繁栄していた当時の巨大な帝国を何という？
① ローマ帝国 ② クシャーナ朝 ③ マケドニア王国 ④ パルティア
- 14 奴国からの使節の来訪や金印の授与についての記述がある、中国の歴史書を何という？
① 古事記 ② 後漢書 ③ 魏志倭人伝 ④ 日本書紀
- 15 銅鐸が主な役割として使われた、豊作を祈るなどの行事を何という？
① 狩り ② 戦い ③ 祭り ④ 交易



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	柱の途中に板状の出っ張り（ ネズミ返し ）を取り付けることで、地面から登ってくるネズミがそれ以上進めないように工夫されていました。		2 ネズミ返し	☐
2	吉野ヶ里遺跡 は、周囲に深い堀（環濠）を巡らせ、外敵の侵入を防ぐ構造を持つ大規模な集落跡です。		1 吉野ヶ里遺跡	☐
3	鉄器 は主に農具の刃先や、武器としての剣や矛などに加工されました。		3 鉄器	☐
4	青銅器である銅剣や銅矛は、鋭い刃を持ちながらも実用には適さない繊細なものも多く、主に 祭祀 の場で神聖な道具として使われました。		4 祭祀	☐
5	青銅器の中でも、銅剣・銅矛は九州北部を中心とする西日本に、銅鐸は近畿地方を中心に多く出土し、文化圏がはっきり分かれていました。		2 九州地方	☐
6	魏の歴史をまとめた『魏志』のうち、東夷伝という章に倭人に関する記述があり、一般に『 魏志倭人伝 』と呼ばれます。		3 魏志倭人伝	☐
7	漢鏡 は、中国の漢王朝で鑄造された銅鏡で、高い鑄造技術による精巧な文様が特徴です。		1 漢鏡	☐
8	銅鐸 は、主に近畿地方を中心に分布しており、弥生時代の村の共同体で行われる祭りや儀式に使われたと考えられています。		4 銅鐸	☐
9	福岡県の 志賀島 で、農作業の最中に石の間から金印が発見されたと伝えられています。		3 志賀島	☐
10	銅鐸 は青銅製の釣鐘状の道具で、当初は小型でしたが、次第に大型化しました。		2 銅鐸	☐
11	金属器 には主に銅製品（青銅器）と鉄製品がありました。		1 金属器	☐
12	吉野ヶ里遺跡 は、周囲に二重の環濠と柵をめぐらせた巨大な集落跡です。		4 吉野ヶ里遺跡	☐
13	ローマ帝国 は、地中海沿岸の全域を支配下に置き、高度な法整備や道路網、水道技術などを有していました。		1 ローマ帝国	☐
14	『 後漢書 』は、後漢時代の出来事をまとめた中国の歴史書です。		2 後漢書	☐
15	銅鐸は、このような 祭り の場で、神聖な音を出したり、掲げられたりすることで、人々を統率し豊作を祈るために使われました。		3 祭り	☐

言えなかった用語ノート